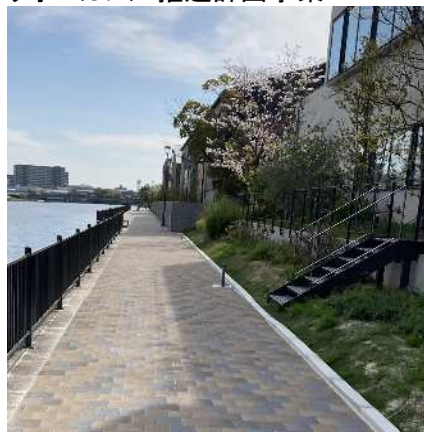
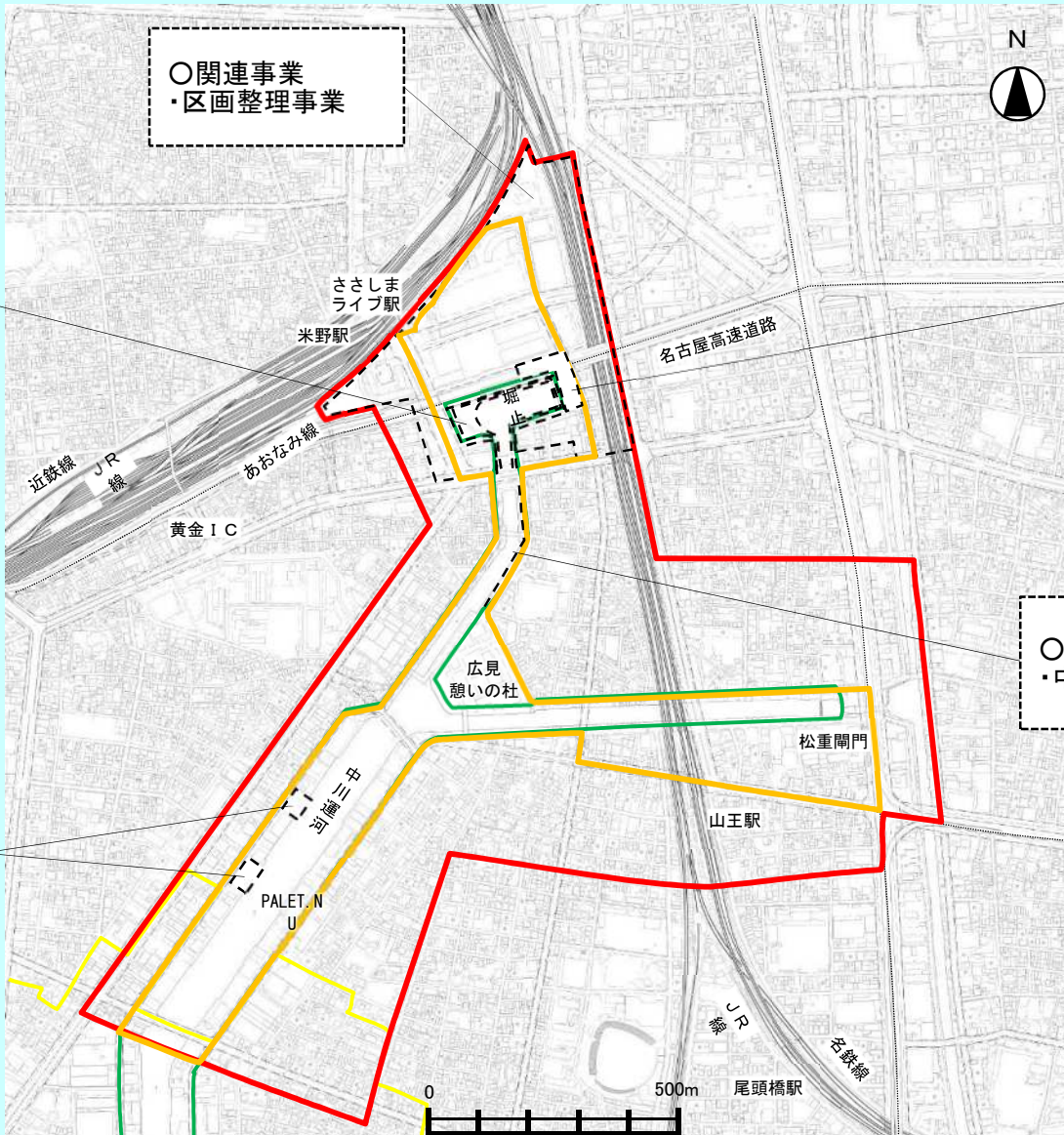


様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	名古屋市		地区名	中川運河にぎわいゾーン地区					面積	151ha	
交付期間	－		事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	－		国費率	－				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名											
			－											
		提案事業	－											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名				削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業	－				－				－			
		基幹事業	－				－				－			
		提案事業	－				－				－			
	新たに追加した事業	基幹事業	－				－				－			
提案事業		－				－				－				
交付期間の変更	当初	－		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		－								
	変更	－												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	ブロムナードの歩行者数(休日)	人/日	0	R3	150	R5		160	○	あり	階段等の整備やブロムナードなど、官民一体となった水辺空間の創出により、歩行者の回遊性が向上し、歩行者数(休日)の目標達成に繋がった。なお、歩行者数は、ブロムナードの供用開始(R5年度末)後、天候や店舗の営業状況等を踏まえ計測した。	－	
										なし				
	指標2	ブロムナードの歩行者数(平日)	人/日	0	R3	50	R5		110	○	あり	階段等の整備やブロムナードなど、官民一体となった水辺空間の創出により、歩行者の回遊性が向上し、歩行者数(平日)の目標達成に繋がった。なお、歩行者数は、ブロムナードの供用開始(R5年度末)後、天候や店舗の営業状況等を踏まえ計測した。	－	
										なし				
	指標3	テラス等の利用者数	人/日	0	R3	100	R5		130	○	あり	階段等の整備やブロムナードなど、官民一体となった水辺空間の創出により、テラス等の利用者の滞在快適性が向上し、利用者数の目標達成に繋がった。なお、利用者数は、ブロムナードの供用開始(R5年度末)後、天候や店舗の営業状況等を踏まえ計測した。	－	
										なし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
その他の数値指標3														
4)定性的な効果発現状況	階段等の整備やブロムナードなど、官民一体となった水辺空間の創出により、新たに水辺のにぎわいが生まれ、SUPなど水面を利用したイベントやPALET.NUを始めとする新たなにぎわい施設が整備されるなど、中川運河のにぎわいづくりに寄与している。													
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた							
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた							
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた							
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

様式2-2 地区の概要

中川運河にぎわいゾーン地区（愛知県名古屋市） 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
広域からも人々を呼び込む目的地として、都心に隣接する運河のさらなる水辺活用を図る。 ●うるおいや憩い、にぎわいをもたらす運河に向けて、水辺の回遊性確保及びにぎわい創出を図る。 ●都心とみなとの結節点にふさわしい魅力的な空間の形成を図る。		プロムナードの歩行者数(休日)	単位:人/日	0	R3	150	R5	160	R5
		プロムナードの歩行者数(平日)	単位:人/日	0	R3	50	R5	110	R5
		テラス等の利用者数	単位:人/日	0	R3	100	R5	130	R5
○関連事業 ・中川運河(堀止)緑地整備事業  ○関連事業 ・ウォーカブル推進計画事業   ○関連事業 ・区画整理事業 ○関連事業 ・ウォーカブル推進計画事業 ○関連事業 ・中川運河プロムナード緑地整備事業 凡例 - 都市再生整備計画の区域 - 滞在快適性等向上区域 ※堀止以外の水面を除く - 基幹事業 - 関連事業									
まちの課題の変化	階段等の整備やプロムナードなどの整備により、官民一体となった水辺空間が創出され、水辺の回遊性向上及びにぎわい創出へ寄与するなど、一定の効果は得られた。								
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	中川運河にぎわいゾーンにおいて、魅力ある水辺空間の形成に向けて沿岸用地へのにぎわい施設の誘導を推進するとともに、にぎわい施設の運河側においてはプロムナードの整備と合わせて民間事業者によるプロムナードへのアプローチ空間の整備を進める。また、うるおいや憩い、にぎわいを両立できるような運河の形成に向けて、引き続き官民一体となり、多様な方が利用しやすく、魅力ある水辺空間の形成を進める。								